東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
責任者
遊佐めぐみ

十一月号

就職

十五日にはガイダンスもあり

本校を来年卒業する人たちはどのような進路をとるのであろうか。十月二十日現在での進路状況調査の集計が、学生部の就職室によって出された。

昨年度と比較すると今年度の進路状況には大きな変化が見られる。明らかな違いは、企業に就職する学生が減少したことである。その反面、企業以外の職業、特に薬局に就職する学生が大幅に増えた。また病院に関しては、数字の上ではそれほどの増加が見られないものの、進路未定者のうちの六割近くが病院を希望している。

企業に就職する学生が減少した原因は、不景気により製薬会社が募集人員を削減したことは無論、薬学系以外の学生の希望者が増えて競争率が高くなったことにある。それに対して、医薬分業が進行しつつある現在、薬局や病院での薬剤師の必要性が高まってきている。したがって、競争が激しくなった企業に採用される学生が減り、それによって薬局や病院の希望者が増えたものと思われる。

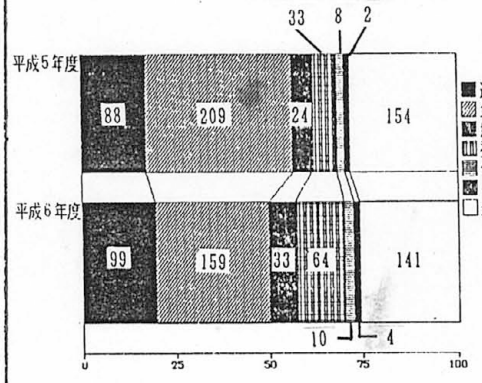
さて、すでに就職戦線に臨んでいる四年生はともかく、来年度以降就職に挑む三年生以下の学生にはどのような心構えが必要だろうか。学生へのアドバイスをいただきに、学生部長の宿前利郎教授の所へ伺った。

就職試験においては、面接試験が重要なファクターを占めている。まず自分を面接官の審査に合うような人間に仕立てなくてはならない。面接官に好印象を与えるには、成績が優秀であることは当然のこととして、正しい言葉遣いや礼儀正しさ、その会社に対する知識などが必要である。これらは一夜漬けでどうにかできるものではない。特に、友達同士でのおしゃべりとは違う目上の人に対する言葉遣いは、今から養っておく必要がある。その他、会社に対して入社したいという熱意や自己主張を見せることも重要であろう。

また就職に関する学校側からの手助けの一環として、十一月十五日(火)に三年生と大学院生を対象とした就職ガイダンスが行われる。このガイダンスでは『内定への道』という一つのビデオを通し、就職活動の始まりから活動中のことまでが、ストーリー的に説明される。就職について何も知らない学生でも分かるように、ごく基本的なことが話される予定なので、三年生はどの人もぜひ出席してほしい。

我々学生は、いつかはみな社会に出て行かなくてはならない。その社会に出て生活していけるような力を養うのが大学での勉強なのである。そのことを各自がしっかりと自覚して、日頃の勉強を怠らずきちんとした成績をとっていくことが、今の我々にとって一番大切なことと言えるであろう。

学部の進路状況



進学状況

この度、平成七年度大学院進学者数の集計が行われた。以下にその結果(十月二十日集計)を示す。

千葉大…六名(一名)
東京理科大…六名(一名)
共立薬科大…三名
東北大…三名(一名)
広島大…三名
北海道大…三名
東京大…二名
富山医科大…二名(一名)
九州大…一名
静岡県立大…一名
東京薬科大
薬学専攻…五一名
(一二名)
医療薬学専攻…一七名
(三名)
( )内は女子

大学院進学率は全体で一九%と、昨年に比べ二%と微々たる伸びで終わり、特に女子に関しては、進学者数は完全な横ばいと、昨年と比較しても変化のない景気状況は大学院進学への意欲を停滞させているようである。

今の状況では、大学院にあがったとしても、就職活動が楽になるわけではない。その意味では、大学院にいく意味はなくなるだろう。しかし元来、純粋により高度な研究を目指す人々が集まるのが大学院である。この不況下、むしろ研究者予備群が、厳選されたのではなかろうか。

視覚の魔術展

だまし絵の不思議な世界

新宿伊勢丹美術館で催されている「視覚の魔術展―だまし絵の不思議な世界」へ行ってきた。

絵画の長い歴史の中に、様々な形をとって現れる不思議な図像、奇妙で謎めいた絵の数々。出品作は、フランス、アメリカ、オーストリア、日本など、世界十一ヶ国の美術館、博物館、個人コレクターに所蔵されているもので、総計約百五十点にのぼる。

果物や野菜を積み重ね人間の顔を描いた絵、まるで物そのものがそこにあるように描かれ工夫された絵、円筒形の鏡に映したとき初めてまともな形に見える絵など、遠い昔の画家たちの飽くことのない想像力は、時を超えて見る人の関心をかきたて、驚きを目覚めさせる。

だまし絵はただ奇をてらったり関心をあおったりするためだけに描かれたわけではない。十七世紀頃まで、それらの絵は「反変わりな世界の外観にも宇宙の真理と調和が潜んでいる」と考える独特の思想に支えられていた。それ以降の時代になると、次第に神秘性が消え、遊戯の色合いが濃くなってきた。今回の展覧会は、十五世紀から二十世紀までの幅広い時代の絵画が集められている。

展覧会は、二重像(ダブルイメージ)だまし絵(トロンプルイユ)ゆがめられた遠近法(アナモルフォーズと天井画)の三部門で構成されている。開催期間は十二月五日(月)まで。学生証を提示すれば、一般千円のところが大学生料金の八百円で入場できる。

視覚上の「ゆがみ」「逆説」「誇張」など、工夫を凝らした絵画が一堂に集まっているこの展覧会、余暇を利用し立ち寄って、いろいろな時代の画家たちが仕掛けた「視覚の魔術」を楽しむのもいいだろう。

ただし、じっくりと絵を見たいと思うなら、平日に行く事をお薦めする。

ハルモ定演

東京薬科大学ハルモニア管弦楽団の第十九回定期演奏会が今月の二十七日(日)に開催される。

会についての内容は次の通りである。

日時　十一月二十七日(日)
開場　午後一時三十分
開演　午後二時
会場　府中の森芸術劇場
交通　京王線東府中駅北口下車徒歩五分

今回も、ブラームスやチャイコフスキーといった、皆さんもよく知っている作曲家の楽曲が演奏される。

日頃クラシックに馴染みのない方も、この機会に聴いてみてはいかがだろうか。

薬味

☆イカン(以下「イ」)「はぁい!みんな薬味の時間だよー準備はいいかな?」(耳を傾ける)「はい、いいお返事でしたね!」○ブンシ(以下「ブ」)「今日は何をやるんですか?」☆イ「今日は便乗商品についてお話したいと思います。教室のみんなもよぉく聞いてね!」○ブ「ねえおねえさん、おねえさん」☆イ「何かな?ブンシ君?」○ブ「便乗商品っていうのは何ですか?」☆イ「馬鹿ねえブンシ君は。あのね、便乗商品っていうのはね、何か人気キャラクターができると、恥を知らないメーカーさんがそのキャラクターの商品をばんばん作るのよ。そういう商品のことをいうのよ」○ブ「例えば、どういうのがあるんですか?おねえさん」☆イ「最近はね、広島で名菓『ぷよまん』というのができたのよ」○ブ「な、何です?それは」☆イ「ぷよぷよまんじゅうの略よ。でも味は温泉饅頭と変わらないと思うわ(笑)」○ブ「で、値段はいくらなんですか?」☆イ「十六個入りで千五百円よ。三千円以上買うとカーバンクルのぬいぐるみがついてくるのよ(限定百個で)。昔は通販で三千七百円で売ってたのに、よっぽど売れなかったのね(笑)」○ブ「でもそれはお得ですね」☆イ「そうね。ほかにも『ぷよラムネ』というのもあるわ。おねえさんのお友達にも集めている人がいてね、その人は一箱全部買って、ラムネはおねえさんにくれたのよ」○ブ「まるで『ビックリマンチョコ』みたいですね」☆イ「そうね、わかった?メーカーさん。おまけだけじゃなく、お菓子もよく研究してね!」

(新聞太郎)

東薬祭終了

新学部参加の結果は？

十一月三日から五日にかけて東薬祭が開催された。薬学部と生命科学部の二つの学部を持つUNIVERSITYとしては初めての東薬祭である。しかし、生命科学部に関連した目新しい試みはなかったようで、単科大学であった頃とそれほど変わったという印象は受けなかった。それではここで今年の東薬祭の三日間を振り返ってみる。

文化の日にあたる三日は、午前中は小雨のぱらつくあいにくの天気であった。このため一般客の足は鈍り気味に思われたが、午後からは天気がもち直し、祝日ということもあって三日間のうちで一番の盛況となった。

例年の公開実験に変わって企画された体験実習では、植物学、動物学、微生物学、そして実習経験者のためのアドバンスド・コースの四種類が用意され、本から得た机上の知識を実際に自分の目で確かめることのできる貴重な機会となった。音楽祭では、オープニングがFESTA MODE、メインは東京バフォーマンスドールの一員である穴井夕子さんのライブで、エネルギッシュなステージが観客を酔わせた。

二日目にあたる四日にはぬけるような青空が広がった。昼間は暑いくらいであったが平日とあって人出は少なく、参加団体の学生にとっては学内を廻ることもでき、時間的に余裕のある一日となった。

イベントとしては中夜祭が開催された。テーマは「狂った秋の獣」と「異常な愛の世界」。テーマにふさわしく、妖しげなステージが繰り広げられた。中夜祭を見た後、日常の東薬生に対する認識を改めたくなった人も多いのではなかろうか。

最終日の五日には薬学セミナー、講演会、後夜祭が開催された。薬学セミナーの第一部では、第一微生物学教室の宿前利郎教授が「不老長寿の薬はあるか？―生体防御と免疫機能―」というテーマで、また第二部では臨床薬学教室の粕谷靖次教授が「薬の血中濃度と『さじ加減』」というテーマでお話をされた。

講演会には元フジテレビアナウンサーで、現在はフリーとなりエッセーの執筆など多方面で活躍中の寺田理恵子氏が招かれた。431講義室において「アナウンサーを100倍楽しくみる方法」というテーマでお話をされた。

後夜祭では、ミスター・ミス・ミスターレディーコンテストが開かれた。また「Never Give Up '94」では我悦大会のような数々のゲームが行われ、最後にふさわしい盛り上がりを見せた。

その他にこの三日間に開催された行事としては、薬草園の一般開放、スペシャル・オリエンテーリング、「麻薬」がテーマのSET、遠日大阪わいのガラクタ市などがあった。

参加団体による模擬店をまわって変に思ったのは、正門の並びに祭の中心からあまりに離れた店があったことと、出店場所がパンフレットと異なっていたことである。この原因は名義模擬店の場所が確定当日に指定されていなかったためと思われる。

東薬の新たな時代の幕開けに伴って多少の混乱が見られた今年の東薬祭であるが、携わった全ての人々の熱意と努力に敬意を表しつつこの成功と疑問点が来年に生かされることを期待する。

ギター定演

来る十一月二十六日（土）東薬ギターアンサンブル部第二十八回定期演奏会が開催される。

全部員により演奏される曲は「コンドルは飛んでいく」のような民族音楽から「別れの曲」といったクラシックまで、幅広いジャンルから選曲され、誰もが一度は耳にしたことのある曲ばかりである。また、小アンサンブルでは各学年ごとに選曲・演奏されており、各々の個性が発揮されている。いずれもこの春より培ってきた部員の「和」がすばらしいハーモニーを醸し出すことだろう。

演奏会の詳細は次の通りである。

日時　十一月二十六日（土）
開場　午後五時
開演　午後五時三十分
会場　七生公会堂
交通　京王線高幡不動駅下車徒歩七分

芸術の秋に、美しいギターの音色に耳を傾けてみてはいかがだろうか。

体育祭結果報告

毎年恒例の体育祭が、十月十九日（水）に開催された。当日は寒い一日であったが、参加した選手達は、それを吹き飛ばすかのような熱戦を繰り広げ、「主将レース」・「騎馬戦」など全十一種目が滞りなく行われた。体育祭の成績は以下の通りである。

◎総合順位
優勝…赤チーム（サッカー・スキー男・バスケット女・一微生物・一生化・一生薬・二薬化・公衆衛生）
二位…黄チーム（硬庭男・柔道・バスケット男・スキー女・植研・一薬理・一分析・化学・臨床薬理）
三位…青チーム（ラグビー・軟庭男・ワンゲル・バドミントン女・軽音楽・一衛生・薬品製造工学・二薬剤・臨床生化）

◎チーム対抗リレー
優勝…赤チーム
二位…白チーム（野球・バレー男・卓球男・硬庭女・アスレチック研究会・二衛生）
三位…黄チーム

◎男子スウェーデンリレー
優勝…陸上B
二位…ラグビー
三位…Bコース友の会

◎女子スウェーデンリレー
優勝…ラクロスB
二位…バスケD
三位…バスケA

◎男子研究室対抗リレー
優勝…二生薬B
二位…一分析
三位…一衛生

◎混合研究室対抗リレー
優勝…臨床薬理B
二位…二生薬B
三位…二生薬A

新英名制定

平成六年十月十五日の理事会において本学の新英文名が決定した。二年にわたる審議の結果、改訂された新しい英文名は、Tokyo University of Pharmacy and Life Science と決まり、平成六年十一月六日（創立記念日）が制定日となった。制定までの詳しい経緯は、来月号に掲載予定。

崩れゆく常識

図書館で飲食をしても別に良いじゃないか、とその人達は思っているのだろう。しかし、常識は無意味にあるのではない。この場合は本を汚さないためというのが当てはまる。汚すまいと思っても、置いてあった缶ジュースを「ついうっかり」倒すことだってありえる。本当に本を汚すまいと思うならば、近くに汚れる原因となる物を置かないのが一番確実なのだ。

常識を破るのが当たり前になってしまうと、今度はそれが常識になってしまう。そんな無循環を作らないためには一人一人が分別を持てば済むことだ。だが、周囲を見回してみると当たり前の内容の張り紙がなんと多いことか。

「歩行禁煙」「空き缶はごみ箱に」「壁でタバコを消さないように」…裏を返せばこんな当たり前のことが守れない人間がそれだけいるのだ。これらは全て大学構内に張ってあるものである。これが東薬生の実態かと思うと情けないとしか言いようがない。何故これらの常識があるのか、その理由を考えてもらいたい。考えるまでもなくわかるはずである。

（浜崎尚美）

先日図書館に行った時のことだ。私が調べものをしていると缶ジュースを開ける音がした。「普通図書館では飲食してはいけないのでは」そう思って顔を上げてみるとやはり飲食禁止の張り紙がある。

「図書館では飲食禁止」言うまでもなく常識、言い替えるなら当たり前のことである。にもかかわらずその常識を破る人がおり、それゆえ当たり前のことかわざわざ表示されている。

編集後記

十一月
十九日（土）　生命科学部推薦入試のため登校禁止
三十日（水）　勤物慰霊祭

最近ことに寒い日が続いている。無類の寒がりの私としては、この寒さは苦痛であることこの上ない。夜はすぐに体温が下がって眠気を催し、朝は睡眠時間の割に寝起きが悪い。

それがどうした。

1なーーーーーーーすっー茄子はナイス。茄子は無いっス。茄子は為すすべもない。茄子をなすりつける。なすがナスして茄子した。なすナス茄子。（XAZSA）

2はーいはいはい。ぷよぷよ通がでました。だれか私に上手な乱入のやり方を享受して下さい。ボタンを押してもできません。（甲）

3あ、さがでん。すならた。んいわくあがたよいきわべちせせのぼかりきただ（春茂）

4「目の前にぷよがいる」逃げる。「ぷよが追いかけてくる」振り返る。そこには数珠つなぎになったぷよが…「どうする？」（草田）

5あぁぁぁぁッ、印刷室借りるの忘れたぁぁぁッ。あぁぁ、印刷室の鍵が欲しいようぅぅぅッ。（宵闇月）

6あ、編集後記に会長の手入れが入った。え、「入」がだぶって見苦しいからリテイクですか？（なす・くれいぶ）

7機械（コンピュータ）が一台増えて、いとうれし。でもプリンターの機嫌を損ねたらしく、結局今までよりも使い勝手が悪くなった。いとわろし。

（大回転高野さん）